学校番号	3028

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）地学概論	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	高等学校「地学基礎」（啓林館）、セミナー地学基礎（第一学習社） フォトサイエンス地学基礎、チェック&演習地学基礎（数研出版） 2027 共通テスト対策【実力完成】直前演習 地学基礎（ベネッセコーポレーション）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年次に一通り地学基礎について学びました。3 年生では、総括的に復習します。単なる暗記の繰り返しではなく、様々な現象を関連付けて理解するといいでしょう。記述問題を解く必要性はありませんが、それを想定することで、より学習が深まります。また、自ら学習内容をまとめ直すことで、理解が促進されることもあります。問題を解く学習ばかりにならないように気を付けましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地球や地球を取り巻く環境について日常生活や社会の関連との関連を図りながら理解し、基礎的な知識を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
今まで学んできた知識や実験・観察などを通して科学的に探究する力や表現する力を養う。地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
問いや課題に対して、積極的に取り組む姿勢を養う。必要最低限の成果にとどまらず、自分でより高度な達成を目指して前向きに授業や学習に参加できるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に着けている。	自然の事物・現象から問題を見出し、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	活動　第1部　固体地球とその	第１部 第１章　地球 第２章　活動する地球 第２部 第１章　大気の構造 第２章　太陽放射と大気・海水の運動	a:地球の形、表面や大気で起こる現象を理解すること。 b:実験観察などを行い、思考力や表現力を身に付ける。 c:地球の状況や気象現象に興味関心を持ち、積極的に授業に参加し、レポートや課題を提出する。	定期考査	定期考査　提出物	授業態度　提出物
前期期末	第２部　大気と海洋 第３部　移り変わる地球	第２部 第３章　日本の天気 第３部 第１章　地球の誕生 第２章　地球と生命の進化	a:日本の天気の変化や宇宙や地球の誕生について理解すること。 b:実験観察などを行い、思考力や表現力を身に付けること。 c:天気の変化や宇宙に興味関心を持ち、積極的に授業に参加し、レポートや課題を提出する。			
後期中間	第４部　自然との共生	第３部 第３章　地球史の読み方 第４部 地球環境 災害 人間生活と環境の変化	a:　地層の形成や自然環境について理解すること。 b:実験観察・問題作成などを行い、思考力や表現力を身に付けること。 c:地史や環境に興味関心を持ち、積極的に授業に参加し、レポートや課題を提出する。			
学年末	総復習	共通テスト対策	a:　分野を超えて横断的に地球の状態について理解すること。 b:問題文の意図を考え、資料を読み解き、思考力や表現力を身に付けること。 c:地学全体に興味を持ち、積極的に授業に参加し、レポートや課題を提出する。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度